

[👉をクリックすると関連するページが開きます。](#)

夏の研修講座・講演会のご案内

夏季休業中に107の研修講座・講演会を実施します。「教科教育研修コース」「特別活動研修コース」「教育課題研修コース」「『教育の情報化』研修コース」など、多彩な研修内容を設定しています。あなたも夏季休業中に自分磨きをしてみませんか？

[👉夏休みはちえりあへ！～夏の研修講座・講演会のご案内～](#)

[👉教科の専門性を高めるための19講座（教科教育研修コース）](#)

[👉教育センター講演会ポスター](#)

[👉研修受講申込書](#)

幼児教育に関する研修もたくさん実施します。

「すぐに保育に生かせる！」「幼稚園教育要領に基づく実践！」「幼稚園における子育て支援の在り方」「発達障がいのお子さんへの対応」など

[👉幼児教育センター夏季休業中の研修一覧](#)

ミコラム ゲートキーパーとは？

みなさんはゲートキーパーという言葉聞いたことがありますか？ゲートキーパーとは「門番」の意味ですが、内閣府の定義によると、「悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人」のことです。

悩んでいる人は、孤独を感じていたり、周囲から孤立したりして、相談につながらずに追いつめられている場合が多くあります。そのため、周りの人がそのサインに気づき、まずは声をかける勇気が必要になります。

学校においては、自殺に傾いた子どもを思いとどまらせるゲートキーパーの役割は、まさに教職員の役割の1つであり、子どもの自殺の未然防止に努めることが求められています。

ゲートキーパーとしての教職員の役割は大きく分けると4つあります。

気づく：児童・生徒の変化に気づいて声をかける

傾聴：本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

つなぐ：専門の相談機関等につなげる

見守る：温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

特別なことや新たなことをするのではなく、日常の子どもとの関わりの中で自殺予防の視点をもって、児童生徒と接することが求められています。

[👉内閣府ホームページ「ゲートキーパーとは？」](#)

「さっぽろ・ようちえん・ ここにこフェスティバル」

親子で楽しむ催し物がたくさん！

幼稚園の遊びを体験できます！

市内の全幼稚園のパネル展示や幼稚園ガイド（冊子）の配布など、情報もたくさんあります。

[👉リーフレットはこちらから！！](#)

8月2日（金）～6日（火）

「札幌市の幼稚園パネル展」
＜札幌駅前通地下歩行空間＞

8月31日（土）

「幼稚園を体験しよう！！」
＜市立札幌大通高等学校＞

シリーズ

教育図書資料室活用法 その1・【授業編】

教育センター5階にある「教育図書資料室」には教職員向けの図書・資料を揃えています。今回から5回シリーズで「教育図書資料室」の活用法をお伝えします。

[👉教育図書資料室活用法
その1・【授業編】](#)